

## ふじのくに芸術祭2021(第61回静岡芸術祭) 文芸コンクール 入賞作品

| 賞名          | 種目      | 作品名                           | 氏名(ペンネーム) | 市町     |
|-------------|---------|-------------------------------|-----------|--------|
| 静岡県<br>芸術祭賞 | 戯曲・シナリオ | 一枚の絵                          | 竹島 秀子     | 静岡市清水区 |
|             | 小説      | 街の人                           | みのしま ななえ  | 藤枝市    |
|             | 詩       | 鎮魂-馬鈴                         | 大瀧 壽子     | 静岡市清水区 |
|             | 短歌      | 護符                            | 鈴木 健示     | 浜松市北区  |
|             | 俳句      | 藍匂ふ                           | 水口 よお子    | 裾野市    |
|             | 川柳      | 曇天                            | 鈴木 千代見    | 浜松市南区  |
| 朝日新聞社賞      | 小説      | 球音                            | 徳田 和仁     | 御殿場市   |
| 静岡第一テレビ賞    | 随筆      | メグミさん                         | 清水 恵      | 三島市    |
| 産経新聞社賞      | 児童文学    | カラスとポプラの木                     | 渡邊 壽三     | 浜松市東区  |
| 静岡放送賞       | 川柳      | 微熱                            | 佐藤 清泉     | 伊豆市    |
| 奨励賞         | 小説      | 桃太郎だといひねえ                     | 荒戸 英秀     | 静岡市清水区 |
|             | 児童文学    | インドの蛇使いのお話<br>-蛇使いタージルの平和の願い- | 瀧 幸明      | 静岡市清水区 |
|             | 随筆      | 大谷の山歩き                        | 高野 房子     | 静岡市駿河区 |
|             | 詩       | 秋の埋葬                          | 荷田 李里     | 静岡市葵区  |
|             |         | 旅をしている                        | 谷 和子      | 田方郡函南町 |
|             | 短歌      | 月への梯子                         | 花房 直正     | 伊豆の国市  |
|             |         | 光                             | 望月 規枝     | 富士宮市   |
|             |         | 時ははるかに                        | 星谷 孝彦     | 伊豆市    |
|             | 俳句      | 石工                            | 漆畑 庄峰     | 伊豆の国市  |
|             |         | 浜北人                           | 市川 敏      | 浜松市浜北区 |
|             |         | 瑞穂の国                          | 芹澤 幸子     | 静岡市清水区 |
|             | 川柳      | 音                             | 橋本 酒楽     | 伊豆市    |
| 五体不満足       |         | 山下 和一                         | 伊豆市       |        |
| 準奨励賞        | 随筆      | 太田慶子に逢いたい                     | 櫻井 寛治     | 伊豆市    |
|             | 詩       | 溜息                            | 菊川 三郎     | 磐田市    |
|             |         | ふうりん                          | ほさか ゆかる   | 富士市    |
|             |         | 私のこと忘れないでね                    | 仲野 鈴代     | 静岡市葵区  |
|             | 短歌      | 精神障害を抱えて                      | 大村 誉子     | 島田市    |
|             |         | 小景                            | 海瀬 安紀子    | 静岡市駿河区 |
|             |         | 蟬声                            | 酒井 拓夢     | 浜松市中区  |
|             |         | 刻む                            | 小川 健治     | 静岡市駿河区 |
|             | 俳句      | 青梅                            | 野月 真人     | 駿東郡小山町 |
|             |         | 紫蘇の香                          | 戸塚 きゑ     | 浜松市南区  |
|             |         | 新松子                           | 渡邊 春生     | 富士宮市   |
|             |         | 竹の春                           | 田中 純子     | 富士宮市   |
|             |         | 分水嶺                           | 金子 治夫     | 浜松市東区  |
|             | 川柳      | 日に一度                          | 鈴木 明寿     | 浜松市東区  |
|             |         | 絵心が動く                         | 大村 利朗     | 静岡市葵区  |
|             |         | コロナ・今                         | 田中 恵子     | 浜松市北区  |
|             | 影       | 中村 禎次                         | 浜松市中区     |        |

ふじのくに芸術祭2021(第61回静岡芸術祭) 文芸コンクール 入選作品

| 種目     | 題名                  | 氏名(ペンネーム) | 市町     |
|--------|---------------------|-----------|--------|
| 小説     | 潮流(万石事件)            | 山下 清生     | 浜松市浜北区 |
|        | ヒマラヤ病院物語            | 藁科 裕之     | 焼津市    |
|        | 形而上 奇跡              | 小樹谷 有陽    | 浜松市南区  |
| 戯曲・シリオ | サムライ牧場              | 真野 年幸     | 駿東郡長泉町 |
|        | 富士山の前髪              | 水元 久美子    | 静岡市駿河区 |
| 児童文学   | 日光の三猿静岡へ            | 島津 勝      | 静岡市葵区  |
|        | 山の奥の大きな木            | 岡野 文寿     | 藤枝市    |
| 評論     | 阿部昭『人生の一日』考         | 清水 武治     | 静岡市清水区 |
|        | 一向に振り向かない<br>小野小町伝承 | 川本 武史     | 静岡市葵区  |
| 随筆     | バクーのピクニック           | 大前 康郎     | 静岡市葵区  |
|        | ニコライ・リティコフ          | 高部 久美子    | 浜松市中区  |
|        | 古民家誕生               | 松田 宏      | 島田市    |
| 詩      | 夾竹桃                 | 杉浦 陽子     | 静岡市葵区  |
|        | 雪まんじゅう              | 深山 幸子     | 三島市    |
|        | 朝顔                  | 長谷川 雅代    | 静岡市駿河区 |
|        | パンパス・グラス            | 菅沼 浅代     | 湖西市    |
|        | GRANSHIP            | 菅沼 美代子    | 静岡市駿河区 |
|        | 里の駅                 | 忍城 春宣     | 駿東郡小山町 |
|        | エッ!                 | 鈴木 京子     | 伊豆の国市  |
|        | 喘ぎ                  | E         | 静岡市葵区  |
|        | 鷺が走ってる              | 荒戸 英秀     | 静岡市清水区 |
| 短歌     | 川を歩けば               | 河田 琴栄     | 浜松市中区  |
|        | たらの芽                | 風岡 俊子     | 富士宮市   |
|        | 雨                   | 杉村 和子     | 藤枝市    |
|        | 栄光の陥穽               | 鷺巣 錦司     | 静岡市葵区  |
|        | 続・県境のスケッチ           | 木村 徳幸     | 静岡市清水区 |
|        | セリザワブルー             | 清水 美千代    | 島田市    |
|        | 差出人不明               | 大瀧 壽子     | 静岡市清水区 |
|        | 阿蘇の夕映え              | 長澤 重代     | 静岡市清水区 |
|        | 日本平動物園              | 梅澤 佳子     | 藤枝市    |
|        | 葛花                  | 鈴木 昭紀     | 三島市    |
|        | 夏潮                  | 尾内 甲太郎    | 浜松市南区  |

| 種目   | 題名      | 氏名(ペンネーム) | 市町     |
|------|---------|-----------|--------|
| 俳句   | 棟上げ     | 安立 由美子    | 浜松市中区  |
|      | 吾子の初子   | 寺本 碧水     | 伊東市    |
|      | 梅雨晴れ間   | 野月 真人     | 駿東郡小山町 |
|      | 虹       | 富田 玲子     | 掛川市    |
|      | 蟻螂      | 原 百合子     | 浜松市中区  |
|      | 徒然なるままに | 吉田 勝郎     | 藤枝市    |
|      | 回天基地跡にて | 越川 都      | 浜松市東区  |
|      | 深山      | 塚本 良子     | 藤枝市    |
|      | 稲の花     | 田中 美保子    | 浜松市東区  |
|      | 遠富士     | 稲津 とし子    | 浜松市中区  |
|      | 冬支度     | 鈴木 登次     | 焼津市    |
|      | 帰郷      | 石川 義倫     | 沼津市    |
|      | 葛桜      | 竹川 寿美枝    | 富士宮市   |
|      | 生きる     | 神谷 司郎     | 牧之原市   |
|      | 一里塚     | 川崎 里子     | 静岡市清水区 |
| 川柳   | 打水      | 松下 允子     | 磐田市    |
|      | セピア色の恋  | 外側 としみ    | 磐田市    |
|      | 手紙      | 鈴木 かおる    | 浜松市中区  |
|      | 手       | 宮崎 三千代    | 静岡市駿河区 |
|      | キラリ     | 三石 悦子     | 伊豆の国市  |
|      | 肩       | 松本 けい子    | 藤枝市    |
|      | 「コロナ禍」で | 中村 恵明     | 伊豆の国市  |
|      | 老婆      | 鈴木 邦恵     | 富士市    |
| 生きる術 | 漆畑 庄峰   | 伊豆の国市     |        |

## ふじのくに芸術祭2021(第61回静岡芸術祭) 文芸コンクール

## 応募状況及び入賞・入選数

| 種目    | 小説 | 戯曲・<br>シナリオ | 児童<br>文学 | 評論 | 随筆 | 詩  | 短歌 | 俳句 | 川柳 | 合計  |
|-------|----|-------------|----------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 応募数   | 24 | 12          | 15       | 5  | 21 | 54 | 65 | 86 | 69 | 351 |
| 芸術祭賞  | 1  | 1           |          |    |    | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   |
| 後援者賞  | 1  |             | 1        |    | 1  |    |    |    | 1  | 4   |
| 奨励賞   | 1  |             | 1        |    | 1  | 2  | 3  | 3  | 2  | 13  |
| 準奨励賞  |    |             |          |    | 1  | 3  | 5  | 5  | 3  | 17  |
| 入選    | 3  | 2           | 2        | 2  | 3  | 9  | 11 | 16 | 8  | 56  |
| 入賞入選計 | 6  | 3           | 4        | 2  | 6  | 15 | 20 | 25 | 15 | 96  |

ふじのくに芸術祭 2021（第 61 回静岡県芸術祭）文学部門文芸コンクール審査員寸評

|   |
|---|
| <p>【小説】 応募は二十四編、去年今年と漸増しています。八割近くが四十枚以上のものを書いています。内容的には印象に残るものは少なかったです。歴史物、来し方物、今時の世相物など、多岐に渡っていたのは好ましかったと思います。読み書きが、スマホで用を足している生活なのか、多くの人の文章の作りが崩れているとの印象を持ちました。（杉山 禎男）</p>          |
| <p>【戯曲・シナリオ】 応募数 12 作品（シナリオ 7、戯曲 5）と、本年も二桁以上となった。モチーフを一つに絞ったものから一歩ずつテーマを紡ぐものと、短編から本コンクールの規定する最大枚数まで使い切る長編と幅広かった。しかし期待する水準に満たないレベルが多い。ただ、どの作品も、作家からの表現したいという熱量を感じられ喜ばしい。（中川 正臣）</p>    |
| <p>【児童文学】 コロナ禍の中で生きる子供たちに読んでもらいたい作品が集まりました。平和への願いや自然の破壊に対する悲痛な声や虐めの問題に向き合って真摯に書いた作品でした。児童文学は大人の文学と違った文学の一翼を担っているということを改めて知らされました。素晴らしい作品をお読みください。（土屋 智宏）</p>                          |
| <p>【評論】 本年の評論は、歴史、映画、時事が各一編、文学が二編の計五編でした。その内容は幅広く、論理の展開方法も様々で読み応えがありました。総じて、よく言えば独自視点を持ちながらも、悪く言えば独りよがりが多かったという観があります。独自の熱い主張は極めて重要ですが、冷静な分析や説得力があってこそその評論です。新たな挑戦を期待します。（小長谷 建夫）</p> |
| <p>【随筆】 応募数は二十一編でした。家こもりの下、いずれの作品も完成度が高く、心意気を感じさせ、審査は難航しました。作品の意図、何故書くのか、何を書くのか。構成や表現力に加えて時と空間の広がりをつめる思索にも注視する選考となりました。（柴田 真利子）</p>   |
| <p>【散文種目 総合審査】 総合審査五ジャンルのうち、今回は「評論」部門からのノミネートがなく、「小説」から 2 作品が上がって来たが、いずれも筆者それぞれに切実なテーマと覚しく、十分読みごたえがあった。様々な時代背景の中で、そこに生きざるを得なかった登場人物達に託された人間観には、悲喜こもごもの感情を読者に与える力があった。（寺田英視）</p>       |
| <p>【詩】 本年度は 54 名の応募があった。十代から九十代まで。作品を読みながら、私はそれぞれの体験から来る言葉の重さやリアリティに圧倒された。詩は学問の有る無しに関係なく、体験を十分に吟味し、そこから浮かんでくる自分の言葉を布のように織っていく作業だと思った。続けることで、いつかは掛け替えのない自分に出会えるものと信じている。（金指 安行）</p>    |
| <p>【短歌】 応募数は六十五編。昨年に比べるとかなりの減少だが、若い力が光って全体の作品レベルを牽引している感じがあった。十代から九十代までの幅広い感性が、それぞれに新しい自分への挑戦を試みている頼もしさも感じられる。作品の内容は多岐にわたり、五首一組への向き合い方という面でも、自らの視点が活かされていた。（小笠原 小夜子）</p>              |
| <p>【俳句】 今年の応募数は八十六編で昨年に比べて三編の減でした。しかし外出自粛の状況下ながら回想や身近な題材の力作も多く、全体として内容が充実しています。年齢構成は六十代、七十代、八十代の三世代だけで 91% となり今後の課題ですが、まずは静岡県の俳句愛好の元気な高齢者を誇りとし讃辞を贈ります。（中川 正男）</p>                     |
| <p>【川柳】 今年度の川柳の部の応募者は 69 名。年齢層は七十代、八十代が全体の 75% を占めていました。作品の内容は、全国何れの誌上大会と変わらず、コロナ禍での閉塞感を詠んだ句が多く見られました。これは仕方の無いことかもしれませんが、川柳の武器である【穿ち】【おかしみ】で、ウイルスを倒してほしかった、と思います。（句ノ一）</p>            |